

近畿地方整備局和歌山河川国道事務所 和歌山県	配布日時	平成22年 1月13日 10時00分
資料配付		

件名	<p>自転車ヒヤリハットマップの公表及び 自転車通行環境に関する社会実験の実施 ～「和歌山県自転車通行環境懇談会」の中間報告～</p>
----	---

概要	<p>近年、交通事故全数の減少傾向に比べ、自転車の事故（特に歩行者と自転車の交通事故）が増加傾向にあり、自転車・歩行者が安全に安心して通行できる環境に見直していくため、平成20年1月17日に今後の自転車通行環境整備の模範となるモデル地区として、警察庁と国土交通省により、和歌山県内の2地区が指定されました。</p> <p>これらの地区において、自転車通行環境の整備方針を検討するため、和歌山県、和歌山市、和歌山県警察本部、和歌山河川国道事務所の関係機関で「和歌山県自転車通行環境懇談会」を設置しました。</p> <p>第2回懇談会（11月9日開催）においては、沿道自治会、近隣の中学・高校等にご協力いただき実施したアンケート調査をもとに作成した「自転車ヒヤリハットマップ」を策定・公表するとともに、歩行者と自転車の分離を試みる「自転車通行環境に関する社会実験」を実施することになりましたので、お知らせいたします。</p>
----	--

取扱い	-----
-----	-------

配布場所	<p>和歌山県政記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ</p>
------	--

問合せ先	<p>○国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所 副所長 木村 是一（内線 205） 道路管理第二課長 三浦 行雄（内線 441） TEL 073-424-2471（代表）</p> <p>○和歌山県県土整備部道路局道路保全課 主任 船戸 直哉 副主査 松下 千加生 TEL 073-441-3117（直）</p>
------	--

自転車ヒヤリハットマップの公表 と自転車通行環境に関する社会実験の実施

～「和歌山県自転車通行環境懇談会」の中間報告～

1. 背景

近年、交通事故全数の減少傾向に比べ、自転車の事故（特に歩行者と自転車の交通事故）が増加傾向にあり、自転車・歩行者が安全に安心して通行できる環境に見直していくため、平成20年1月17日に今後の自転車通行環境整備の模範となるモデル地区として、警察庁と国土交通省により、和歌山県内の2地区（和歌山市駅前・吹上砂山地区）が指定されました。

これらの地区において、自転車通行環境の整備方針を検討するため、和歌山県、和歌山市、和歌山県警察本部、和歌山河川国道事務所の関係機関では、平成21年8月4日（第1回懇談会）に「和歌山県自転車通行環境懇談会」を設置しました。

2. 自転車ヒヤリハットマップの公表と自転車通行環境に関する社会実験の実施

第2回懇談会（11月9日開催）では、8月に実施したアンケート結果等を踏まえた自転車ヒヤリハットマップの策定、歩行者と自転車の分離を試みる社会実験等について検討しました。

このたび、懇談会では、自転車ヒヤリハットマップを公表すると共に、自転車通行環境に関する社会実験を実施することとしましたので、お知らせいたします。

（1）自転車ヒヤリハットマップ

沿道自治会、近隣の中学・高校等にご協力いただき実施したアンケート調査をもとに、自転車乗車中に危険を感じた箇所をまとめた、自転車ヒヤリハットマップを公表します。なお、このマップは、和歌山河川国道事務所のホームページに掲載すると共にアンケートをいただいた近隣の中学・高校等への配布を予定しています。

（2）自転車通行環境に関する社会実験の実施

自転車の安全で快適な利用促進を図り、既存の道路空間を有効に活用した自転車通行環境整備を目指すため、歩行者と自転車の分離を試みる社会実験を次のとおり実施します。なお、その際、実験の効果や影響を検証するため「アンケート調査」を実施しますので、ご協力をお願いします。

○実施日時：平成22年1月18日（月）～20日（水）
午前7時～9時 ※雨天順延（小雨決行）

実施場所：①国道26号（气象台前交差点～小人町交差点）
②県道新和歌浦梅原線（和歌山市民会館前）

○実施日時：平成22年1月25日（月）～27日（水）
午前7時～9時 ※雨天順延（小雨決行）

実施場所：③国道42号（NHK前交差点～真砂丁交差点）

1. 背景

- 歩行者と自転車の交通事故が増加傾向にあります。
- 和歌山市内の歩道では自転車と歩行者が混在し危険な状態になっています

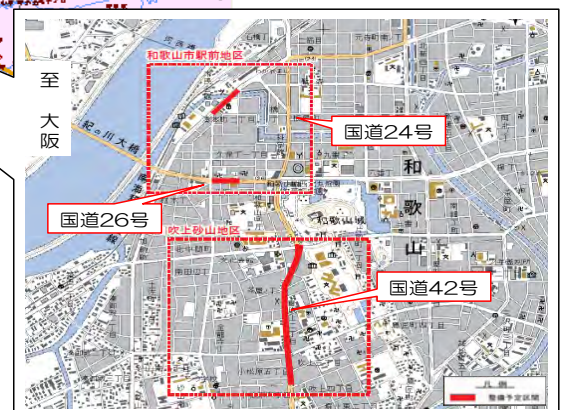


- 和歌山市内の2地区（和歌山市駅前地区、吹上砂山地区）が今後の自転車通行環境整備の模範となるモデル地区に指定されました。

位置図



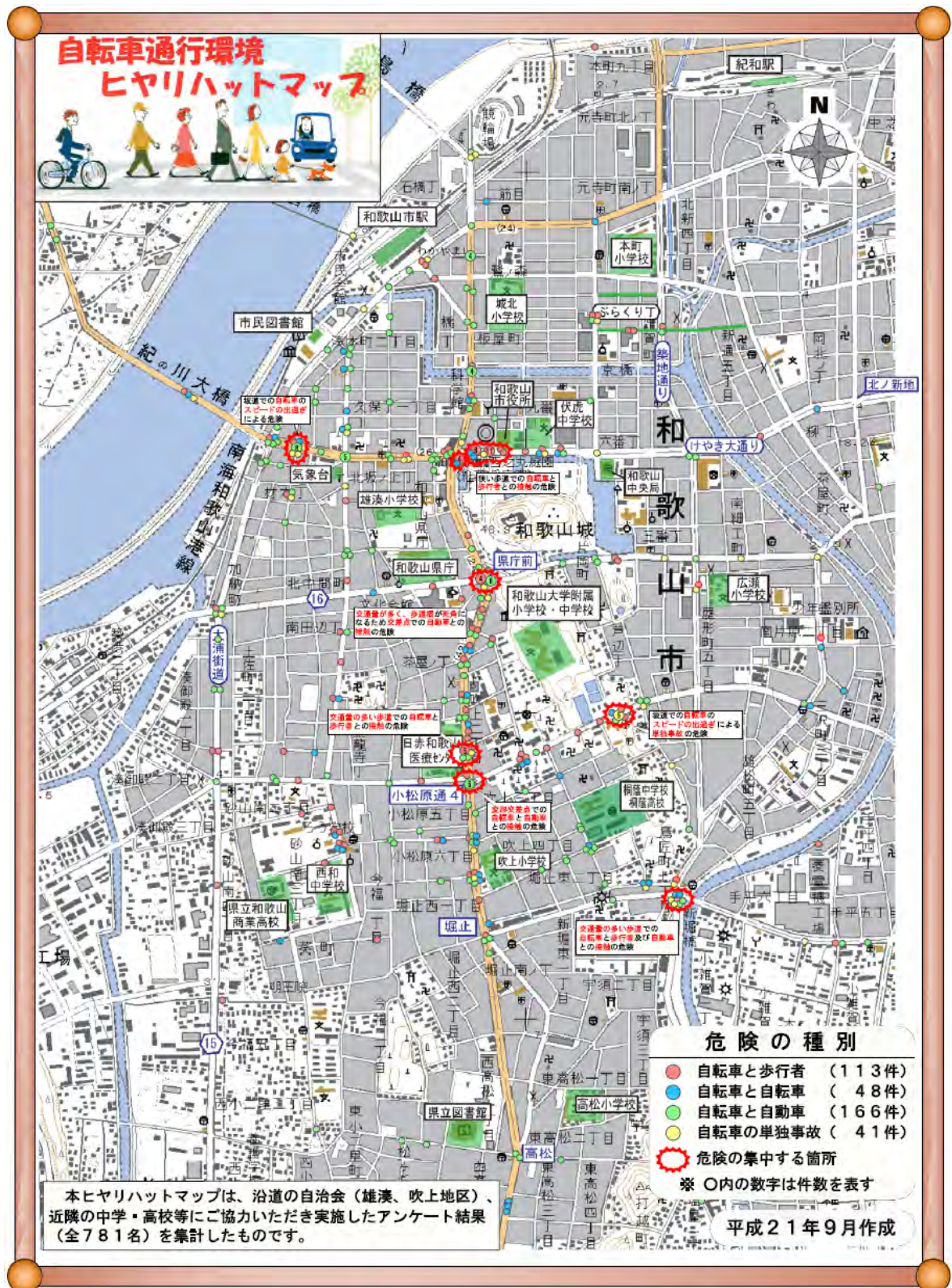
至 大阪



- これらの地区において、自転車通行環境の整備方針を検討するため、和歌山県、和歌山市、和歌山県警察本部、和歌山河川国道事務所は、「和歌山県自転車通行環境懇談会」を設置しました。

2. (1) 自転車ヒヤリハットマップ

○ 自転車乗車中に危険を感じた箇所をまとめた、自転車ヒヤリハットマップを作成しました。このマップは、沿道の自治会、近隣の中学・高校等にご協力いただき実施したアンケート結果（全781名）を集計したものです。



2. (2) 自転車通行環境に関する社会実験の実施

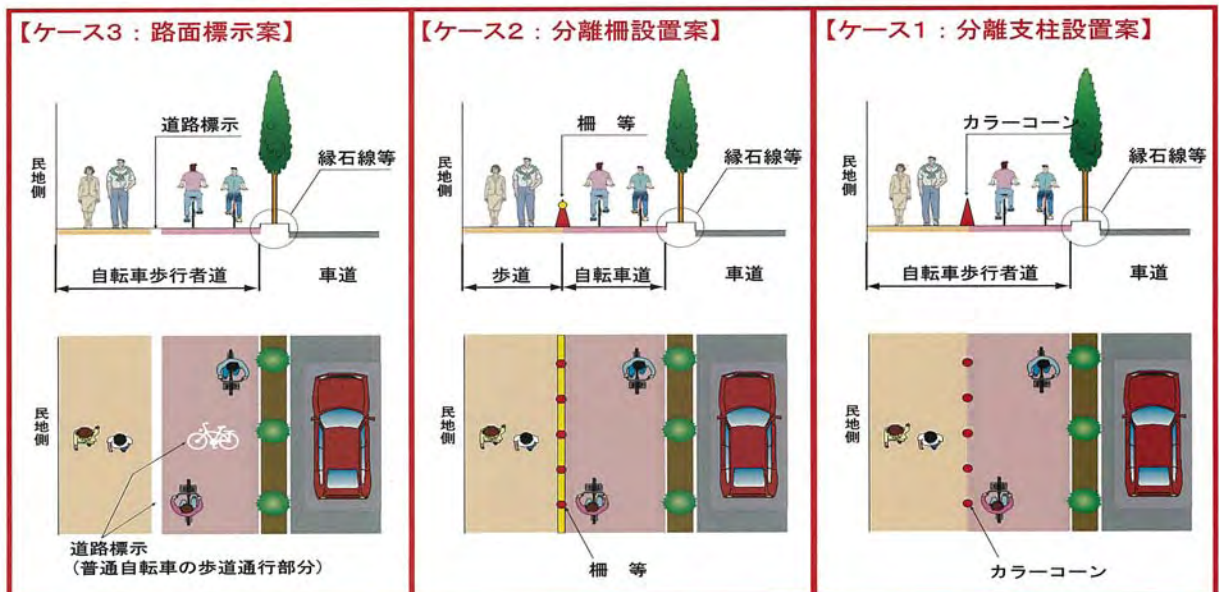
○自転車の安全で快適な利用促進を図り、既存の道路空間を有効に活用した自転車通行環境整備を目指すため、歩行者と自転車の分離を試みる社会実験を次のとおり実施します。なお、その際、実験の効果や影響を検証するため「アンケート調査」を実施しますので、ご協力をお願いします。

○実施日時：平成22年1月18日（月）
～20日（水）
午前7時～9時
※雨天順延（小雨決行）
実験箇所①：【国道26号】
（国道南側気象台から東側の歩道）
実験箇所②：【県道新和歌浦梅原線】
（和歌山市民会館前南側の歩道）

○実施日時：平成22年1月25日（月）
～27日（水）
午前7時～9時
※雨天順延（小雨決行）
実験箇所③ 【国道42号】
（国道東側NHK前の歩道）



- ・歩行者と自転車の分離構造は、以下の3タイプにより実験します。なお、実験箇所②では、ケース1, 3の実験となります。
- ・利用者の方々へ各ケースを利用した感想等についてアンケート調査を実施させていただきます。



(参考)

「和歌山県自転車通行環境懇談会」

和歌山県自転車通行環境懇談会は、和歌山県内において「自転車通行環境整備モデル地区」として定めた2地区（和歌山市駅前地区、吹上砂山地区）において、自転車通行環境の整備方針を検討するため、平成21年8月4日（第1回懇談会）に設置されました。

8月には、沿道自治会、近隣の中学・高校等にご協力いただき、自転車通行環境に関するアンケート調査を実施しました。

第2回懇談会（11月9日）では、アンケート調査結果を踏まえ、ヒヤリハットマップ、自転車通行環境モデル地区における歩行者と自転車の分離試行案、自転車通行空間ネットワーク計画等の検討がなされました。

このたび、懇談会では、自転車ヒヤリハットマップを公表すると共に、歩行者と自転車の分離を試みる社会実験を実施することとしました。

今後、社会実験の結果をとりまとめ、第3回懇談会において、モデル地区の整備方針を検討します。

○委員名簿

委員	氏名	所属
座長	畠山 貴晃	和歌山市 副市長
委員	辻本 勝久	和歌山大学経済学部市場環境学科 准教授
委員	吉田 長裕	大阪市立大学大学院工学研究科 講師
委員	尾花 正啓	和歌山県県土整備部 道路局長
委員	中村 富佐夫	和歌山県警察本部交通部 参事官
委員	福岡 彰三	国土交通省近畿地方整備局道路部 道路情報管理官
委員	島村 喜一	国土交通省和歌山河川国道事務所 事務所長

○実施フロー

